



池田チイさん



高杉末美さん

# 妙たえの光ひかり

復刊108号

## ともに悲しみを抱えても明るく

新潟市西区 高杉末美さん(85歳)  
池田チイさん(73歳)

集落が隣同士の高杉さんと池田さんは、農作業の合間を見ればお茶飲み話に興じる仲だ。お彼岸など寺の行事には、池田さんの運転する車に乗って一緒にお参りする。明るい冗談で笑いの絶えない2人だが、実はともに辛い過去を持つ。

高杉さんは23歳のとき同級生同士で結婚した。57歳で夫が肺ガンで、その後同居の長男も白血病のため37歳の若さで逝った。遺されたのは長男の妻と幼い子ども、そして高杉さんだった。一方の池田さんの長男は高校生の時に急死した。ショックもあつたのか、以来夫は酒の量が増えた。それでも夫婦2人で農業に精出してきたが、夫は20年余り後に68歳で病死した。その後は娘一家が家に入ってくれて同居している。

いまでも寂しさ悲しみを忘れることがない、というのが仲良しの理由かもしれない。夏のある日、そんな2人のお茶飲み話を聞かせていただいた。

(院首記) (2ページに続く)

# 行事案内

## お彼岸中日法要

9月23日(月・祝)

午前10時30分 安穩廟法要  
11時 秋季彼岸会中日法要(本堂)  
12時 おとき(当日受付)  
午後1時 田村上人法話



## お会式と第17回法号授与式

11月4日(月・祝)

午前9時 法号授与者研修  
11時 お会式、法号授与式  
12時 おとき  
午後1時 三流亭楽々さん落語口演  
\*詳細は別紙ご案内をご覧ください。



## 七五三詣り

11月10日(日)

午前10時30分 受付  
11時 ご祈祷  
お子さん、お孫さんの健やかな成長を願い、七五三のご祈祷をいたします。  
\*詳細は別紙案内をご覧ください。



### あ と が き

今夏の「万灯のあかり～妙光寺の送り盆」は、記念すべき第30回のフェスティバルでした。まだ幼かったご前様は、第1回のことによく覚えていないそうです。そのご前様と若手檀信徒のトークでは、「妙光寺を核にしたコミュニティを大切にしたい」という声も出ました。大切なものが少しずつ受け継がれていくことを実感した夏でした。それでは、秋も楽しい行事が目白押しです。どうぞお寺に、お出かけください。(新倉理恵子)

## 合同法事

12月1日(日)

今年、年回忌(法事)が当たっていたけれど都合でできなかったという方のために、合同の年回忌法要を営みます。檀信徒・安穩会員どなたでも。

午後2時 受付  
2時30分 法要  
3時30分 銘々で墓参り

費用：塔婆1 霊位2千円  
・お供物共通経費2千円 ・お布施持物：位牌  
・墓参用の花、ロウソク、線香 ・平服でどうぞ

申込：11月20日までに電話でもかまいませんが、なるべくFAXやハガキ、メール等で。

## 月例信行会 毎月第1日曜日

10月6日(日)、11月3日(日)、12月1日(日)

毎月第1日曜日 朝7時～9時  
会費 1,000円(各自さい銭箱へお願いします)  
\*予約不要。当日お寺へ直接お越しください。お参り、法話、作務、朝粥の朝食とコーヒータイムがあります。

## 月例ボランテラ 毎月15日

午前9時から11時半。午後1時～3時  
主に本堂清掃等をお願いしています。都合の良い時間にお越しください。昼食はご持参で。



## お寺でヨガ 毎月第3木曜日

10月17日(木)・11月21日(木)

●時間 午後2時～3時15分 ●参加費 1回700円  
●持ち物 ヨガマット、もしくはバスタオル  
●講師 ノリコさん  
どなたでも参加できますが、予約制です。その都度電話での連絡をお願いします。  
\*12月から3月まで「お寺でヨガ」はお休みします。



## 年会費口座引き落とし

手続きをされた方へ  
10月20日～27日の間に指定の口座から引き落としをさせていただきます。口座残高のご確認をよろしくお願いいたします。特にご希望が無ければ通帳への記載をもって受領書の発行は省略させていただきます。



働いて元気

**高杉** 85歳になってこんな年寄りげな姿になってしまっておしまいだわ。9人兄妹の末っ子で残ってるの私だけだよ。

**池田** いやいやこれからだこて。9人兄妹があ、昔の人は頑張ってたよ。高杉の子供を産んで育てたよ。

**高杉** あの頃は他に楽しみがなかったんだろ。今日はテーブルの上が散らかって悪いね。片付けると忘れるんさ、だからこうして広げておくんだ。

今も午前中は畑仕事するよ。三本鎌持って畑をぶつんだ。だから近頃右腕が痛むんだわ。実家が農家だったから畑仕事は得意。葉たぼを作っている。特に夏は大変だった。乾燥小屋の二階で収穫した葉たぼを吊すんだが、葉に着いた土と自分の汗と一緒に下口口になったわ。

**池田** 私は友達がたくさんいて、特に今農家が人手不足だから手伝いを頼まれる。73歳だから何も出来ないと思えるけど、他に人がいないというので、3日間だけとか言って行く。私らより若い人でこんな作業できる人がもういなくなつた。これからの時代どうなる

高杉末美さん(85歳)



高杉さん採りのキュウリ

んだらう。畑も田んぼも草だらけになるよ。

**高杉** 近頃の若い人でも畑をやる人はいないけど、茄子の苗は5本しか植えないんだって。確かにいっぱい作っても食べきれないもんさ。でも人に上げればいいんだ。院首さんが来るって言うから、今朝キュウリを採っておいたよ。生きがいいからね。味噌でもつけて食べたら最高だよ。

**池田** いいキュウリだな。枝豆は作っていないだろ？今度持ってくるよ。昔は自分で農家したけど、ダンナが死

池田チイさん(73歳)



池田さん自慢の野菜の数々。タマネギは送り盆でカレの主役になった

でからは日雇いで他の農家の手伝いに行った。日雇いは時間から時間まで働くから自分の都合で休憩できない。今ならカボチャや茄子に話しかけて、返事はないけど楽しいよ。たつぷり2時間は昼寝できるし。私の同級生でお金払って体操しに行ってる人がいる。私なんか体動かして金取っているのにな。

冗談言い合う仲間

**高杉** お寺詣りしたいけど、行けるのは池田さんが乗せていってくれる春秋のお彼岸と4月の「ご判さま」くらい

女性がたくさんいて、また話が弾んで楽しい。最高齢者は85歳が3人もいる。なかには昔大型ダンプにも乗っていた、長距離トラックで全国どこでも走ってたなんてすごい人もいるよ。

**高杉** ヘー あんた見たいな頑張り屋さんでも負ける人がいるかい。

**池田** だから私は昼間は小屋か畑にかかない。毎月お寺からお経に来てもらうけど、時間の約束は携帯電話にしてもらってるよ。

ボーとしてるとボーと呆れるんだよ。元気でいて若い者の世話にならずに口口と逝きたいもんだ。家族は娘夫婦と26と28の男の孫の5人。

**高杉** あんたは娘夫婦だからまだいいよ。私は嫁と孫だからね。嫁も夫に早死にされて大変だよ。私も家の中で気を遣ったり金使ったり大変さ。亭主と倅に早死にされて、もう涙も枯れ尽くした。どんなに大切な人でも冷凍して取って置く訳にいかないもんね。

ともに辛かった過去

**高杉** 亭主は建設会社で働いていて大怪我してから、頑張って市役所の清掃センターに勤めた。私も試験受けて合格、2人で働いた。現場で15年それから事務で10年勤務。仕事も酒も男に

負けなかった。いまでも日本酒はたまに飲む。『八海山』が旨いよ。

亭主はゴミ収集車の受け入れが仕事で、死因は肺がんだが、年中排気ガスを吸い続けたのもあると思う。死後に課長だの部長だの偉い人と言った。保証してくれと言うんじゃない。職場環境を改善してくれってね。

24年暮らした亭主に先立たれ、その後37歳の息子を亡くした。亭主を亡くしたのは序の口、倅に逝かれたときにもつと悲しかった。ご前様のお経を聞いていると涙が出て止まらなかつた。2人がいないのは今でも辛い。毎月お経にきてもらうけど、涙は出なくなつたね。

亭主が死んだ時は仕事してたから、忘れるときもあった。清掃センターでゴミ収集のトラックが到着すると、わざわざ私の所に来て「大丈夫か、元氣出せよ」って声かけに来てくれるんだ。嬉しかったね。その後、倅に逝かれた時はお先真っ暗だった。本当に色々経験して切なかつた。

今の楽しみは嫁いだ娘が近くのスーパー銭湯に連れて行ってくれること。お湯につかるとホッとして、畑仕事の疲れが取れる。これが一番。昼間はいつも一人だから あんたが来ないとき

退屈すると隣に「居らんかー？」と言って訪ねていくよ。

**池田** そうそう 人と話すことは大事私はまだ運転が出来るから スピードには気をつけて、働いているときが一番だ。

**高杉** あんたは下山という村から神山という村に嫁いできたんだから出世したんだよ。神山の安沢医者の妹が、頭が良くて気立ての良い娘だからってあんなを紹介したんだよな。

**池田** そうだったかねえ。嫁に来がけは夫の言うことをなんでもハイハイって聞いて良い嫁だった。でも段々年食ってああでもない、こうでもないって口答えするようになったってダンナに言われた。だけど倅に死なれ、ダンナに死なれて48kgが43kgにまで痩せたよ。切なくてごはんも喉を通らねんだ。それが今じゃビヤ樽だ。腰のくびれが無くなつたもの。

相談相手が欲しかった

**池田** 実家は大工だったけど、畑も少しあったから嫁いでの農作業は苦でなかつた。母親の実家が妙光寺檀徒だよ。叔父さんが100歳過ぎてまだ元気で、この前野菜持って訪ねたらシヨートステイに行つて留守だった。子

だね。一人では乗り物が無いんだよ。バスがあるって言うけどここを通らな

いもんね。

**池田** そうだよな。それ以外は私が農家の友達に手伝いを頼まれて忙しいからね。それでも最近ヨシンさんも行くようになって3人だからいいよ。この近所は男の若死にが多いよ。私らしいまで生きるんだらう。でも人生って先が見えないところがいいんじゃないの。次は自分が死ぬ番だなんて、分かたら困るよ。

**高杉** この前、便に血液反応があつて何年ぶりかで大腸検査をした。今まで検査で痛いなんてこと無かつたのに、今回はものすごく辛かつた。先生に「腕が落ちたんでないの！」って言つてやつた。口は悪いけど、怒らせないように言うからね。

**池田** 一生苦労だわ。どんなこともある。どうすることもならん。

冬以外は農作業で忙しい。でも畑作業は張り合いがある。これから秋になれば大根時きがあつて、成長するのに60日かかる。他に白菜、キャベツ、ブロッコリー、カリフラワー、種時きからして、苗を植えるんだ。収穫したのを直売所に持つて行くと、同じような

どもの頃8月1日は叔父さんの家の馬車に乗つて妙光寺へ盆の墓参りに親戚中が連れ立って行くんだ。ご馳走持つてね。子ども心には墓参りより、ご馳走とそのあとの海水浴が楽しみだった。海の砂が熱くて裸足で歩けなかつたよな。

**高杉** そうだよ海ばかりでないよ。畑仕事だつて昔は裸足で夏は砂が熱くて、刈つた草を敷いた上に立つたもんだ。今裸足ではしないけど、畑仕事は素手が一番だよ。だから手も顔も同じくらい真っ黒さ。あんたも黒いねえ。

**池田** そうさ、軍手だゴム手袋だなんてして畑仕事出来るもんか。素手が一番。黒いのだったら負けないよ。

**高杉** 亭主も倅もいなくて自分が意見を聞かせてくれる人がいないのが辛い。全て自分の考えで判断する。よほど辛いときは実家に相談に行つたね。

**池田** そうだよな。私は本家の爺ちゃんに相談したけど、近頃めつきり老けて寂しいもんだな。

**池田** 憎まれっ子世にはばかるで、私たちは100歳まで生きるんかねえ。

**高杉** いや、良いことしているから元氣に100歳までなんだよ。  
**2人** ははは……そうだねえ。

誰もが仏に成れる教え

『授記品第六』

仏に成ることを保証する

授記とは「記別」を授けること——仏様が弟子に対して、「いずれ仏に成ることを予言し、保証を与える」ことを意味します。これから人びとを救う修行を続けていけば、仏になれることを保証するのです。

4人の声聞

法華経は全てのものが成仏出来る教えであることは、これまでに明かされてきました。この『授記品第六』ではより具体的に、4人の声聞に対して、仏になってからの名前・治める浄土の名前・時代の名前・仏としての寿命が予言されます。声聞は、法華経以前の経典では、自分の平安だけを求めているた

め、成仏出来ないと言われていた修行者を指します。

安心して慈悲を受けるための授記

仏に成ることは出来ないと言われてきたこの4人の弟子たちは、突然誰もが仏になれるという教えを聞き、喜びながらも、俄には信じることが出来ずにいました。それはまるで、飢えに苦しんでいたところを、偉大な王様から食事に招かれたようなものです。目の前に出された御馳走を自分なんか食べても良いものか、手を出しかねているとき、王様から直接「あなたのための食事です」と勧めて貰うことで、安心してその慈悲を受けることが出来たのです。この後の4章をかけて様々な弟子・修行者たちに「記別」が与えられます。

ただいちばんのさいわひに至るために

ジヨバンニつぽい？

もう少し若い頃、友人から「ジヨバンニつぽいね」と言われたことがあります。ジヨバンニは、宮澤賢治『銀河鉄道の夜』の主人公の少年です。どうやらボーイッシュだと言いたかったようなのですが、頭を剃った今の私の姿を見たら友人はとても驚くかもしれません。似ていないでしょうか。

「かなしみもみんなおぼしめしです」

なかでも有名な作品が『銀河鉄道の夜』です。宮澤賢治が生前に繰り返し書き直し、完成しないまま草稿の形で遺されました。賢治にとって、生涯に渡って向き合い続けた物語なので

しよう。孤独な少年ジヨバンニと友人のカムパネルラが、銀河鉄道に乗り様々な人々と出会い旅をする話です。2人の旅は、死出の旅だと評されることもあります。私も先日、あるお葬儀で『銀河鉄道の夜』の一節を紹介しました。

「ただいちばんのさいわひに至るためにいろいろのかなしみもみんなおぼしめしです。」

悲しみが思召しとは、どういうことでしょうか。法華経の中には、「常に悲しみを懐き、心ついに悟りに至る」という言葉があります。人は皆、悲しみを経験して、他の人の悲しみにも向きあえる。他人の痛みに共感することが出来る。それはつまり、仏様の心に近づくことが出来るという意味です。

「まことのさいわひ」

では、「いちばんのさいわひに至る」とはどういう意味でしょうか。『銀河鉄道の夜』の中には、幾度も「さいわひ（幸

い）」という言葉が出てきます。賢治の著作の根底には、「幸い」とは何かを考え続けた姿があります。

宮澤賢治の菩薩行

実は宮澤賢治は熱心な仏教徒で、法華経を篤く信仰しておりました。もうひとつ宮澤賢治の言葉をご紹介します。『農民芸術概論』という詩の一節です。

「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない」

賢治の考えた「さいわひ」とは、ひとりの幸福ではなく、すべての人々が幸せになることでした。自分だけではなく、他人のさいわいを求めること——それを仏教では菩薩行といいます。仏教徒として一番大切な修行です。人々が互いに思いやりの気持ちを持ち、悲しみをいたわりあい、喜びは分かち合う、「いちばんのさいわひ」に至る道を考えてみたいと思います。

◆第30回フェスティバル安穩

万灯のあかり～妙光寺の送り盆 8月24日ⓧ

30周年の記念すべきこの日。天気予報は雨でした。しかし朝からとても良いお天気!!



400人超の参加者に山門の受付も大忙し!



法要から引退した院首さまは『ご朱印帳』の係。院首直筆のお題目にみなさん大喜び。

開式法要



僧侶の読経と「鼓童」の大太鼓、篠笛がコラボレーション。迫力ある法要となりました。



良恵住職と、同世代の若い3人が妙光寺への想いを綴ったトークコーナー。

楽しいコーナーもいろいろ!



「引き取り手のいない遺骨は語る」と題し、北見万幸さんが行政側からの問題を提起。それを受け、妙光寺院首が安穩廟30年の実践を語りました。



蓮の花飾り作り



茶道体験



おはなしパフォーマンス



ポジャギ展



灯籠に灯りがともり、精霊を霊山へといざなう「送り盆」の夜。とても美しく幻想的な世界が広がりました。



篠笛の音と五色の散華舞う「川法要」。山門では大太鼓の演奏…感動の中、日が暮れていきます。



寺のうごき 夏



◆お盆参り 8月1日ⓧ



早朝から家族みんなでお墓参り。

◆施餓鬼法要



この一年間に亡くなられた方々の「新盆法要」も合わせ行われ、たくさんの参拝者で本堂は一杯でした。

◆岩屋七面様祭礼 8月19日ⓧ

春に盗難被害にあった岩屋の七面様ですが、この日の祭礼は信者のみなさんのお蔭で滞りなく開催されました。





さんりゅうていらくらく

# 一流亭楽々さんに聞く――

# 「おもっしえかつたあ」の笑顔がうれしい

新潟を代表する落語愛好家(アマチュア落語家)である一流亭楽々さんは、安穩会員でもあります。

その落語歴は45年に及びますが、妙光寺とのご縁も同じくらいの長さです。

11月4日(祝)、今年のお会式では、楽々さんが妙光寺高座で落語を披露する予定です。



三流亭楽々さん(65歳) 本名・入山隆さん。元警察官の落語愛好家として、新潟ではよく知られた存在である。平成24年(二〇一二年)「社会人落語日本一決定戦」で、みごと優勝した。

**Q** 楽々さんが安穩会員とは、驚きました。妙光寺とは、どこでのご縁ができたんですか？

**楽々** 僕の妻は若い時に新潟の施設で保母をしていて、なぎささん(院首夫人)と同僚だったのです。それに僕は新潟市中央区の出身で、僕の実家はなぎささんのご実家と近所でした。あそこ娘さんが角田浜のお寺に嫁いだんだよ、という感じで妙光寺を知りました。

**Q** 30数年前には、家族で海水浴に来られたそうですね。

**楽々** まだ妙光寺がユースホステルをしていたころです。年に1回、子どもたちを連れて海水浴に来ていました。住職のご家族とは、家族ぐるみのお付き合いで、角田浜はうちの家族の思い出の場所です。

**Q** 安穩会員になったのは、いつですか？

**楽々** 5年前、還暦を期して会員になりました。

**Q** それでは、落語との出逢いを聞かせてください。

した。私たち夫婦は、次男と次女なのでお墓がありません。子どもたちもよく知っている妙光寺なら、お参りに来てくれるだろうというところで決めました。私は、葬儀やお墓は残された人のためにあると思っっているんです。死んでしまえば本人は何もわかりませんから。安穩廟なら景色はいいし、お参りにきた人たちも気持ちがいいでしょうからね。

**楽々** 子どもの時から人を笑わせることが好きでした。小学生の時からコントをやったりしてまして、中学校では放送研究会と応援団と演劇部をやり、高校では応援団をやりながら演劇部をやっていました。高校を卒業するとき役者になりたいとも思ったんですが、どうすればなるかもわからないし、そんなに才能があるとも思えない。そこで第2志望だった警察官になりました。その頃、関口宏主演『男じゃないか』という刑事ドラマをよく見ていて、「警察というのは、他人の人生の裏側が見られる仕事だ」と考えて興味を持ったんです。最初の赴任は水原警察署でした。そこで出会った職場の先輩が、高校生の時に落語研究会をやっていたという人でした。そうこうするうちに、その先輩が高校時代の仲間と一緒に「水原落語会」を始めるといので、その旗揚げ公演を見に行きました。昭和49年の春でした。そして8月には入会して、2度目の公演では高座に上がったというわけです。

**Q** 一目見て「やろうー」と思ったわけですか？

**楽々** もちろんお笑いが好きだったので落語を聞いてはいましたが、自分がやるなんて思ってもいませんでした。でも見てみたら「これは1人でやる演劇だな」と思ったんです。社会人の劇団から誘われたりすることがあったのですが、警察は3交代勤務なので時間が合わない。落語なら1人でやるから自分にもできる、と思いました。

**Q** そのほかには、落語のどんなところが魅力だったんでしょうか？

**楽々** 今思えば、その時の「水原落語会」のメンバーが、皆それなりに上手だったんですね。上手いなあ、すごいなあと思っただけになりました。その気持ちがなかったら始めなかったかもしれません。「水原落語会」が今は「新潟落語会」に発展して、現在の会長とはその時から45年間ずっと一緒に活動しています。そして入会後の11月に、初高座をやったらウケたんです。これですますやりたくなくなりました。立川談志師匠のテープと講談社の『古典落語』という本を手に入れて、あの頃は若かったから何度か聞けばすぐに覚ええましたね。みんな若かったので、週2回くらい集まっていました。「1人でやる」「仲間とつながれる」楽しかったですね。20代後半になると、結婚したり転勤したりで集まることは減りましたが、定期公演はみんなですつと続けてきました。

**Q** 「交通安全落語」や「振り込め詐欺落語」をやるようになったのは、いつごろですか？

**楽々** 40歳を過ぎたころ、交通安全教室のときに「交通安全落語」をやり始めました。上司からもやってみたらと言われまして。そうしたら新聞に載ったりして、評判になったのです。50代半ばには、「振り込め詐欺落語」で1年間に70高座くらいやるようになったになりました。

**Q** だんだん本格的になってきましたね。

**楽々** その頃には中間管理職になっていて、仕事も少し窮屈になってきました。それに「新潟落語会」会長の水都家艶笑が国民

**Q** それでついに社会人落語で日本一なるんですね。

**楽々** 大阪の池田市で、「社会人落語日本一決定戦」が毎年行われています。審査委員長は桂文枝師匠です。退職の年に準優勝して、翌年優勝しました。全国から三〇〇人くらいがエントリーして、本選に残るのは10人です。これは自分で創った新作落語で挑戦しました。優勝した時の演目は「老婆の戦術」といまして、新人の警官がおばあちゃんに振り回される斬です。警察という仕事は、ネタの宝庫なんです。今こうして落語をやっているのも、警官官をしていたおかげですよ。

**Q** 今年は年に何回くらい落語をやっているんですか？

**楽々** 年間二〇〇高座くらいです。毎月第4土曜日に、新潟市古町「藪蕎麦」2階で定期公演「ほのほの寄席」をやっています。奇数月は新潟落語研究会で、偶数月が私たち新潟落語会の担当です。それから地域の茶の間や様々な集まり、お寺も多いです。県外にも年に何回か行っています。私の演目は134ありますが、今も年にいくつか増やしています。

**Q** やりやすい時、やりにくい時がありますか？

**楽々** おなじみのお客様は、笑おうと待つていくのでやるのがやりやすいです。落語はセットや衣装があるわけでなく、お客様の想像力だけが頼りです。このころ一番困っているのが、携帯電話です。江戸時代の斬をやっているのに、着信音が響いてせつかく作り上げた世界が一瞬で壊れて、現実に戻ってしまっています。

**Q** 好きな落語家さんは、どなたですか？

**楽々** 先代の5代目柳家小さんは、素晴らしいと思います。小さんの斬は、八つあいや熊さんだけがいて、喋っている小さんは見えなくなってしまうんです。素晴らしいです。それから寄席で実際に、先代の林家三平を見て好きになりました。「どうも、すいませんん！」をやる人です。帰ろうとするお客を「これから面白くなるんだから！」と言って客席において引き留めるのを、生で見ました。何としても笑わせるという迫力がありました。昭和の爆笑王の名にふさわしい人です。

**Q** それでは、今後の抱負をお願いします。

**楽々** このまま楽しく続けたい、と思っっています。呼んでいただいて、お客様が笑ってくださる。「おもっしえかつたあ。今日来なかった人は、かわいそうらねえ」と言われるのが、一番うれしいですね。

お会式の落語を楽しみにしています。ありがとございました。  
(聴いた人 編集部・新倉理恵子)



10月12日夜、池上本門寺の御会式



## Q 「お会式<sup>えしき</sup>」とは、なんですか？

「お会式」は、日蓮聖人の御入滅（ご逝去）に因んで営む法要です。

日蓮聖人の御命日の10月13日を中心に、各地の寺院で執り行われます。中でも東京の池上本門寺の御会式は有名で、提灯<sup>まとい</sup>や纏を掲げた万灯行列が街を賑わす様子は、江戸時代から秋の風物詩とされてきました。現在でも池上では、12日のお逮夜から、数十万人の参詣者で街が埋め尽くされ、夜更けまで太鼓の音が鳴り響きます。御命日を盛大に賑わす様子は、違和感があるかもしれませんが、悲しみではなく、法華經の教えに触れることができた喜びと宗祖への感謝の気持ちを表しています。

翌13日には日蓮聖人が亡くなられたことを知らせる臨滅度時の鐘と共に、前夜の賑わいとは一変しめやかな法要が営まれます。

妙光寺の今年のお会式は11月4日<sup>㊤</sup>です。8ページのインタビューでご紹介した三流亭楽々さんの落語口演も行われます。是非ご参拝ください。

## 角田山妙光寺インフォメーション

### 佐藤勝啓上人退任

役僧の佐藤勝啓上人が8月末で退任しました。平成26年4月から当初は3年ほどの約束でしたが、更新を繰り返して在職は5年半に及びました。年度当初に次の行き先として10月から日蓮宗々立堀之内学寮の副寮監就任が決まったことにより、檀信徒の皆様には長年にお礼申し上げます。檀信徒の皆様には長年にお礼申し上げます。

これまで多くの若い僧侶が妙光寺に勤務し、学んだことを活かしてそれぞれの寺で活躍しています。佐藤上人にも頑張りたいものです。



佐藤上人

後任は大分市妙瑞寺の子息で菊池泰宣さんが、新卒で来年4月に入ります。それまでは役僧が田村上人一人です。秋冬は大きな行事がないので、忙しいときや田村上人のお休みの日等は2月まで勤務してきた鎌田上人が応援に入ります。ご理解ご協力をお願いします。

### 参道舗装工事

境内が小砂利でサクサクして歩きにくく、車椅子も使えないとの声が数多くあります。検討を重ねてきてこの度皆様か

らのご協力による浄土基金で、参道整備に着手しました。

山門前と太鼓橋の間9・6mは、石材店在庫の安価な石張りです。7月末に完成しました。車椅子用に山門迂回路を12mアスファルト舗装。客殿大玄関正面と冠木門の間29mを、御影石の縁石にコンクリート砂利洗い出し。冠木門と駐車場までの通路20mをアスファルト舗装。客殿玄関前と本堂前参道28mコンクリート砂利洗い出し。以上が9月末までに完成予定です。しかしここまでで予算が尽きてしまい、当初案にあった墓地から山門前

大鼓橋までの50mアスファルト舗装は、今回断念しました。広い境内は何事も金額がさみます。

### 『安穏廟』さらなる造設

現在保有する全ての『安穏廟』が7月末で満杯になりました。

た。そこで『池の上安穏廟』を造設する計画を立案し、行政と事前協議を開始しました。最近では従来からの檀徒の方で、墓地を確保していたが墓をやめて安穏廟にしたいという方が増えています。現在の仮の予約を受付中です。

### 改訂のホームページが好評

6月に大幅改訂した妙光寺ホームページが好評です。四季の境内・主な行事・江戸時代の浮世絵・最近の仏前結婚式等を、大きな写真で紹介しています。音楽入りの動画も見られて、FB（フェイスブック）にも簡単につながります。ぜひご覧ください。

### 秋の行事目白押し

別紙でご案内のように、秋の行事も多彩に計画しています。11月4日のお会式には、例年通り生前戒名の授与を行います。なかなか踏み切れないという方もおおいと思いますが、気軽にお問い合わせください。

